

基礎作業学実習 2 にて陶芸に取り組んでいます (2023.5)

2023年5月22日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「陶芸」を用いることがあります。

粘土で器を作って素焼きの後、釉薬（ゆうやく）を塗って本焼きすれば完成です。

陶芸は上肢の筋力、筋持久力、巧緻性や上肢の力の調節、

作業への耐久性（長時間の座位保持）などの改善を目的に利用されます。



まずは粘土を丸めます



粘土棒は長く長く伸ばして



手回しろくろの上で積み上げて



湯呑みの素焼きが完成しました